

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期 連結累計期間	第66期 第2四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	6,084,893	7,274,259	12,907,780
経常利益(千円)	161,550	88,916	349,576
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (千円)	100,284	35,566	144,490
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	46,572	51,799	78,945
純資産額(千円)	6,839,663	6,755,868	6,872,036
総資産額(千円)	12,709,149	15,900,052	14,413,191
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	16.59	5.94	23.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	53.8	42.5	47.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	62,463	86,018	229,972
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	629,888	3,428	1,633,221
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	172,599	393,817	1,045,938
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,267,780	1,788,557	1,305,293

回次	第65期 第2四半期 連結会計期間	第66期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	11.68	1.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。
3. 第66期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第65期第2四半期連結累計期間及び第65期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第65期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第2四半期連結累計期間において、当社は大同磨鋼材工業株式会社（以下、「大同磨社」という。）を子会社化し、平成23年9月30日現在では当社グループは、当社・子会社3社及びその他の関係会社1社となり、子会社1社が増加いたしました。

大同磨社は、中国・九州地区を販売拠点とする当社のみがき棒鋼の販売先であり、当社及び株式会社サンユウ九州との連携を含め当社グループの業容拡大及び収益向上が見込まれることから、大同磨社を子会社化することを判断したものであります。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な影響を受け、生産水準が急激に落ち込みました。その後、自動車業界等におけるサプライチェーンの復旧が進みましたが、原子力発電所の事故の影響による電力使用制限、欧州の財政危機及び円高の急激な進展など依然として厳しい状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車業界等では震災によるサプライチェーンの寸断などにより、生産数量及び販売数量が一時的に落ち込んだものの、素早い復旧により足元では震災前の水準に戻りました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保と生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。また、当社は平成23年4月26日に、中国・九州地区を販売拠点とする大同磨鋼材工業株式会社（以下、「大同磨社」という。）及び同社の実質的な持株会社である株式会社ヒューマン・スペースの全株式を取得し、当社グループの業容の拡大及び収益の向上に取り組みました。なお、経営の効率化を図るため、平成23年6月30日付をもって大同磨社を存続会社とする吸収合併方式により、両社は合併いたしました。

その結果、販売数量は大同磨社の子会社化等により45千トン（前年同四半期比7.3%増）となり、売上高は7,274百万円（前年同四半期比19.5%増）と増収となりました。

損益につきましては、当社単体では黒字を計上いたしましたが、平成23年1月に稼働を開始した株式会社サンユウ九州において、立上りに伴う減価償却費等の固定費負担に加え、震災の影響等による販売数量の低迷により赤字を余儀なくされた結果、営業利益96百万円（前年同四半期比37.1%減）、経常利益88百万円（前年同四半期比45.0%減）の黒字を計上したものの、四半期純損失は35百万円（前年同四半期は100百万円の四半期純利益）の赤字を計上いたしました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、震災の影響があったものの大同磨社の子会社化により、販売数量は30千トン（前年同四半期比11.6%増）となり、売上高も5,031百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、震災の影響を受けた結果、販売数量が15千トン（前年同四半期比0.4%減）となりましたが、売上高については材料値上げに伴う販売価格の値上げの結果2,242百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は15,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,486百万円増加いたしました。これは主に、大同磨社を子会社化したことなどにより、現金及び預金が483百万円、受取手形及び売掛金が206百万円、商品及び製品が514百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は9,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,603百万円増加いたしました。これは主に、大同磨社を子会社化したこと及び(株)サンユウ九州の設備投資資金等として新規借入を行ったことにより有利子負債が1,839百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が77百万円減少したことなどによるものであります。

### ( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,788百万円となり、前第 2 四半期連結累計期間末に比べ520百万円増加いたしました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

当第 2 四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は86百万円（前年同四半期比23百万円の収入増）となりました。これは主に、仕入債務が334百万円減少したことや、たな卸資産が188百万円増加したことで資金が減少いたしました。減価償却費を330百万円計上したことや売上債権が279百万円減少したことによるものであります。

#### ( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

当第 2 四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は3百万円（前年同四半期は629百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が695百万円ありましたが、連結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入が642百万円及び有形固定資産の売却による収入が46百万円あったことによるものであります。

#### ( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

当第 2 四半期連結累計期間において財務活動の結果調達した資金は393百万円（前年同四半期比221百万円の調達増）となりました。これは主に、長期借入金の返済464百万円や社債の償還100百万円がありましたが、長期借入金を新たに1,000百万円借入したことによるものであります。

### ( 4 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### ( 5 ) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### ( 6 ) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、子会社の㈱サンユウ九州が計画しておりました焼鈍設備増設（投資予定総額：200百万円、着手：平成22年11月、完了予定日：平成23年6月）は平成23年9月に完了いたしました。なお、同設備につきましては、当社が購入し同社に賃貸することに変更いたしました。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普 通 株 式	6,091,000	6,091,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
新日本製鐵株式會社	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号	2,035	33.41
株式会社メタルワン	東京都港区芝3丁目23番1号	315	5.17
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	東京都中央区日本橋1丁目4番1号	295	4.84
日鐵商事株式會社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	250	4.10
永田麻里	横浜市都筑区	231	3.79
サンユウ従業員持株会	大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号	209	3.44
佐藤商事株式會社	東京都千代田区丸の内1丁目8番1号	180	2.96
柏木伸夫	大阪府吹田市	135	2.23
株式会社大阪螺子製作所	大阪府茨木市岩倉町1番6号	126	2.07
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	110	1.81
計	-	3,887	63.82

(注) 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,955,000	5,955	-
単元未満株式	普通株式 28,000	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	5,955	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,000	-	46,000	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島県広島市西区小内町1丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,000	-	108,000	1.77

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,305,293	1,788,557
受取手形及び売掛金	4,205,118	4,411,153
商品及び製品	1,395,700	1,910,472
原材料及び貯蔵品	1,253,678	1,192,782
繰延税金資産	78,836	92,801
その他	300,342	207,876
貸倒引当金	27,865	28,707
流動資産合計	8,511,105	9,574,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,177	1,857,860
機械装置及び運搬具(純額)	2,093,707	2,233,852
土地	1,202,803	1,525,997
リース資産(純額)	23,896	22,660
建設仮勘定	70,300	8,760
その他(純額)	100,638	95,970
有形固定資産合計	5,371,523	5,745,100
無形固定資産		
のれん	-	74,437
その他	48,916	42,960
無形固定資産合計	48,916	117,398
投資その他の資産		
投資有価証券	385,115	346,682
長期貸付金	74,526	68,974
繰延税金資産	-	17,566
その他	36,136	43,526
貸倒引当金	14,131	14,131
投資その他の資産合計	481,646	462,617
固定資産合計	5,902,086	6,325,116
資産合計	14,413,191	15,900,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,060,311	4,015,205
1年内返済予定の長期借入金	593,200	1,401,182
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	138,160	130,061
賞与引当金	96,770	110,277
設備関係支払手形	206,181	6,672
その他	329,823	268,214
流動負債合計	5,426,918	5,934,086
固定負債		
社債	-	100,000
長期借入金	1,693,700	2,625,218
リース債務	21,424	20,188
繰延税金負債	3,372	38,752
退職給付引当金	342,668	375,425
長期未払金	28,072	16,840
資産除去債務	25,000	33,674
固定負債合計	2,114,236	3,210,097
負債合計	7,541,155	9,144,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	4,031,371	3,953,926
自己株式	21,299	43,788
株主資本合計	6,840,967	6,741,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,069	14,835
その他の包括利益累計額合計	31,069	14,835
純資産合計	6,872,036	6,755,868
負債純資産合計	14,413,191	15,900,052

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 2 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	6,084,893	7,274,259
売上原価	5,319,555	6,381,646
売上総利益	765,338	892,612
販売費及び一般管理費		
運搬費	175,603	188,496
給料及び手当	141,243	193,438
賞与引当金繰入額	26,800	47,077
退職給付費用	14,928	18,829
減価償却費	38,666	40,375
のれん償却額	-	8,270
その他	215,274	300,048
販売費及び一般管理費合計	612,516	796,537
営業利益	152,822	96,075
営業外収益		
受取利息	1,494	992
受取配当金	3,276	5,077
鉄屑売却収入	3,034	5,192
その他	10,178	11,492
営業外収益合計	17,984	22,755
営業外費用		
支払利息	7,268	26,629
売上割引	1,410	2,536
その他	577	748
営業外費用合計	9,256	29,914
経常利益	161,550	88,916
特別利益		
固定資産売却益	517	601
貸倒引当金戻入額	705	-
債務免除益	20,000	-
特別利益合計	21,222	601
特別損失		
固定資産除却損	5,198	699
投資有価証券評価損	-	11,088
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,580	-
特別損失合計	38,778	11,787
税金等調整前四半期純利益	143,994	77,731
法人税、住民税及び事業税	6,094	124,093
法人税等調整額	37,615	10,795
法人税等合計	43,709	113,297
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ( )	100,284	35,566
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	100,284	35,566

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	100,284	35,566
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	53,712	16,233
その他の包括利益合計	53,712	16,233
四半期包括利益	46,572	51,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,572	51,799
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	143,994	77,731
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,580	-
減価償却費	197,750	330,526
のれん償却額	-	8,270
退職給付引当金の増減額(は減少)	374	14,509
受取利息及び受取配当金	4,770	6,069
支払利息	7,268	26,629
投資有価証券評価損益(は益)	-	11,088
売上債権の増減額(は増加)	137,339	279,751
たな卸資産の増減額(は増加)	112,884	188,227
仕入債務の増減額(は減少)	42,888	334,595
長期未払金の増減額(は減少)	84,370	11,232
その他の負債の増減額(は減少)	13,790	30,127
その他	39,890	68,732
小計	25,385	246,986
利息及び配当金の受取額	4,822	6,100
利息の支払額	7,595	27,277
法人税等の支払額	3,193	139,791
法人税等の還付額	93,814	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,463	86,018
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	643,663	695,556
有形固定資産の売却による収入	883	46,904
投資有価証券の取得による支出	29	30
無形固定資産の取得による支出	-	2,312
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	642,306
貸付けによる支出	200	1,000
貸付金の回収による収入	13,122	13,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	629,888	3,428
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	400,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	185,100	464,541
社債の償還による支出	-	100,000
配当金の支払額	42,300	41,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,599	393,817
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	394,825	483,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,662,605	1,305,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,267,780	1,788,557

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、大同磨鋼材工業株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 債務免除益 債務免除益の内容は、当社における役員退職慰労金支給対象である取締役の受給権放棄に伴う前連結会計年度末に固定負債(長期未払金)に計上している金額20,000千円の取崩額であります。	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)
現金及び預金勘定 1,267,780千円	現金及び預金勘定 1,788,557千円
預入期間が3か月を超える定期預金 -千円	預入期間が3か月を超える定期預金 -千円
現金及び現金同等物 1,267,780千円	現金及び現金同等物 1,788,557千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成22年 3月31日	平成22年 6月30日

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成23年 3月31日	平成23年 6月30日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりま  
す。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半 期純損失金額( )	16円59銭	5円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	100,284	35,566
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	100,284	35,566
普通株式の期中平均株式数(株)	6,044,726	5,982,726

(注) 当第2四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株あたり四半期純利益金額については、1株当たり四半  
期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第2四半期連結累計期間における  
潜在株式調整後1株あたり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 堤 佳史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小林 洋之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。